

「第2回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会」会議録

- 1 開催日時 令和2年8月24日(水)午前10時00分～10時50分
- 2 開催場所 金杉台中学校3階視聴覚室
- 3 出席者 16人  
金杉台中学校 校長、教務主任、PTA2人  
御滝中学校 校長、教務主任、PTA1人  
金杉台小学校 校長、PTA2人  
教育委員会管理部 教育総務課長  
教育委員会学校教育部 学務課長、指導課長、保健体育課長  
教育委員会総合教育センター 所長、教育支援室長  
(事務局5人)  
教育総務課課長補佐、企画係長、係員2人  
学務課学事係長

【事務局(教育総務課課長補佐)】

事務局から事務連絡です。まず、本日の会議ですが、前回と同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市で定めている「船橋市における公共施設再開に向けての基本的な基準」に準じ、皆様にもご協力をいただきながら、会議を進めさせていただきます。入室・退室時の手指の消毒、マスクの着用、咳エチケット、体調確認などにご協力をいただくとともに、こちらの会場内では、密を避けるための換気、マイクの消毒等適宜行いながら、進めてまいります。また、校舎内、学校の備品等には極力触れないなど、ご協力をお願いします。発言の際には、マスクを着用したままをお願いいたします。万一、発症者等が出た場合には、出席された皆様のご連絡先については学校に確認させていただき、保健所等へ出席者名簿を提出する場合がありますことをご承知おきください。

会議に先立ちまして、配付資料の確認をさせていただきます。「次第」と書かれた資料です。続いて、資料1から2までを配付しております。右上に番号を記載しておりますのでご確認ください。資料1は、「進学先に関するアンケート集計結果報告」です。資料2は、「統合までの間の入学等対応策」です。最後に、席次表を机の上に置かせていただきました。資料について、不足はございませんか。

本日の出席者についてです。金杉台中学校のPTAの方の欠席に伴い代理の方に出席していただいております。金杉台小学校の教務主任、教育委員会の施設課職員、御滝中学校のPTA(1名)が所用のため、欠席しております。本日の出席者は、会員19人中16人の出席となります。

それでは、会長、よろしく願いいたします。

【金杉台中学校校長】

それでは次第に沿って進めていきます。次第の「1.検討事項(1)進学先に関するアンケートの集計結果について」、事務局から説明をお願いします。事前に資料が配られていますので、ポイントを絞ってご説明いただければと思います。

【教育総務課長】

前回の統合準備会でご説明いたしました、進学先に関するアンケートについて、集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。

資料1の2ページをご覧ください。目的にございますとおり、今回のアンケートでは、「統合までの間の入学等対応策案」への意見と現時点での進学先や統合への不安等を把握し、今後公表いたします入学等対応策の決定に向けた検討資料とすることを目的としております。調査方法については、対象者は、金杉台中学校の指定学区及び選択地域の小学5・6年生の保護者を対象とし、各学校を通じて配付・回収いたしました。調査期間は記載のとおりです。

3ページの「4.アンケートの回収結果」をご覧ください。小学生5～6年生の対象者338人に対し、児童292人から回答があり、回答率は86%でした。

続いて、4ページ以降、「5.集計概要」をご覧ください。アンケートの集計結果は9ページ以降の「6.集計結果」にまとめておりますが、集計結果を学校別や学年別にクロス集計し、集計概要としてございます。

まず5ページ、「(1)「統合までの間の入学等対応策案」に関する集計概要」です。対応策の案は29ページに掲載しております。この対応策案について、どう思うかを伺う設問ですが、「1.入学する中学校について」は、金杉台中学校に入学した生徒は、統合時に一斉に転校としますが、転校を望まない児童は御滝中学校への入学を認めること、「2.制服・学用品等について」は、制服は、どちらのものを着用してもよいとすること、「3.統合に向けた生徒の交流について」では、両校で交流事業を計画していくことについてお示ししております。集計では「1.良いと思う」と「2.どちらかというと思う」と「3.どちらかというと思う」と「4.良くないと思う」を「良い」、「3.どちらかというと思う」と「4.良くないと思う」を「良くない」にそれぞれ合算し、整理した結果、それぞれ「良い」又は「どちらかというと思う」とお答えいただいた割合がいずれも90%を超えています。

次に6ページをご覧ください。「(2)進学先の中学校に関する全体の集計概要」です。こちらは、令和3・4年度に中学校へ入学する5・6年生の2学年をまとめた回答です。進学先については、学年別等の分析が重要となるため、次ページにて学年別・男女別のクロス集計を行いましたので7ページをご覧ください。

「(3)進学先の中学校に関する学年別・男女別の集計概要」です。現時点で金杉台中学校へ進学を希望している人数は、6年生2人、5年生7人の合計9人でした。「わからない・検討中」など現時点で進学先を決めかねている人数は、男女合わせて6年生10人、5年生14人です。

次に8ページをご覧ください。こちらは、アンケート対象者全体ではなく、金杉台

小学校の5・6年生の回答者93人の集計概要です。先ほどの金杉台中学校へ進学を希望している9人は全て金杉台小学校の在籍者でした。「わからない・検討中」など現時点で決まっていない方は、男女合わせて6年生4人、5年生9人です。また、このページの最後に記載のとおり、このほか、金杉台小学校の6年生10人、5年生5人から、アンケートの提出がなく、希望する進学先を把握できておりません。

9ページから15ページまでは、設問ごとの集計結果をまとめています。

16ページからは、選択肢や理由等に関する設問ごとの自由記述を可能な限り原文のまま掲載しております。この自由記述に関しては、全てのご意見をこの場でご紹介することはできませんが、大きく分けて「入学等対応策案」に対するご意見と、転校時や統合後の学校生活に関するご意見がありましたので、主なご意見とそれに対する教育委員会の考えについてご説明いたします。

まず、入学等対応策案への意見として、「金杉台中学校で受け入れるのなら、卒業させてあげたい」、「金杉台中学校への受け入れをなくしたほうがいい」といった受け入れに対するご意見がありました。この件に対する教育委員会の考えとしては、統合までの間は金杉台中学校に入学したいという児童・保護者がいらっしゃることに配慮している、あるいは統合方針において3年後の令和5年に統合することを定め、来年度の入学者からは、金杉台中学校で卒業を迎えることなく転校となることから、統合に向けた心情面の負担を軽減し、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう、制服・学用品等への対応や統合に向けた生徒の交流を行っていくこととしております。

次に、「転校を望まないという理由で御滝中学校を選択できるなら、通学指定校変更手続きの申請を省くべき」という申請手続きに関するご意見に関しては、申請理由を整理し、申請書を入学通知書と一緒に送付し、小学校をとおして提出していただくなど対応を検討しております。

次に、「新入生から御滝中学校の制服に統一で良いのではないかな」など制服に関するご意見に対しては、家庭の経済的負担も考え、金杉台中学校、御滝中学校のどちらの制服でも着用可とし、必要に応じて、御滝中学校にある制服の予備も活用していくことといたします。

続いて、交流事業に関しては、「交流事業自体は良いが、これは統合までに向けた事業であり、統合後のフォローアップの一案として、金杉台中学校の先生が数名異動し、月一回程度、元のクラスで集まって交流する時間を設けるなど、不安の解消が必要」といったご意見のほか、「行事を一緒にするのはどうか」という反対のご意見もございましたが、これに対しては、統合に向けた生徒同士の交流を考えると、行事を一緒に行うことには意味がある、と考えております。

このほか、転校時や統合後の学校生活に関するご意見としては、統合に伴う転校によって、友人関係、環境の大きな変化、受験への影響などの不安とともに、コロナ禍の不安や御滝中学校の環境について寄せられました。具体的な例を挙げますと、「途中から統合となったとき、御滝中学校の子たちとうまく友達関係を築けるのかどうか不安。あまりに環境が極端に変わるので大丈夫なのか心配。」、「成績の取り扱い及び

試験について、内申の取り扱いはどうするのか、配慮が必要。」「受験前の大事な時期に環境が変わり子供の精神状態に影響を及ぼすことが不安。」「コロナ禍の中、少しでも感染リスクの少ない金杉台中学校に進学させたい。人数が多すぎて御滝中学校は色々な面で不安。」といったご意見がありました。

これらの不安に対しては、金杉台中学校から学級数・生徒数ともに多い御滝中学校へ統合する際、転校することとなる金杉台中学校の生徒は、環境が変わることへ不安を感じる可能性があります。このため、統合前から交流事業を行うなど、不安を軽減する取組を検討し、進めてまいります。また、転校・統合後に関しても、学校全体で望ましい集団生活の在り方を指導するほか、対応を整理し、丁寧に対応していくことを考えております。

以上のアンケート結果を踏まえ、今後の対応といたしましては、統合までの間の入学等対応策案へは約9割が良いと回答が得られたこと、またこの入学等対応策案に対して良いと思えない方々からいただいたご意見にも関係各課で検討したところ対処可能であると考えられることから、この対応策については、転校を望まない場合の通学指定校変更の手続きを簡素化する形の修正を行い、お手元の資料2のとおりまとめました。こちらに関しましては、この後検討事項(2)においてご説明させていただきます。

次に、進学先について、「金杉台中学校への進学希望者が検討中の方や未提出者を除くと現時点で少数である」とご説明いたしましたが、中学校の進学先についてご家庭でも十分に話し合い、決められるよう、今回のアンケート結果について公表してまいります。併せて、入学者が少なくなる可能性や、場合によっては入学者がいなくなる状況も起こりうると思えます。その場合に、どう受け入れていくのか、子供たちの教育に支障がないようにしっかり考えていくとともに、10月中旬に金杉台中学校の通学区域に関わる6年生を対象に、進学先の調査を行い、入学希望者を把握してまいります。

また、自由記述欄には、金杉台中学校と比べて生徒数が多い、御滝中学校における新たな環境での学習や受験勉強、友人関係の不安が複数寄せられており、進学先について検討中というご意見もありましたので、転校時の学校生活への配慮や統合後のフォローについて関係各課で対応を整理し、今後予定しております保護者説明会でしっかりお答えしてまいります。

最後にアンケート集計結果は、この後ご検討いただく「統合までの間の入学等対応策」の決定後、10月頃に保護者に向けた説明を行うことを予定しておりますので、その説明会で集計結果をご説明することといたしますが、その前に、本日の統合準備会での結果をまとめた「統合準備会たより第2号」を準備ができ次第、発行し、関係する小中学校の児童生徒へ配付いたします。統合準備会たより第2号にて、まずは先行してアンケート結果をお知らせすることを考えております。

「(1)進学先に関するアンケートの集計結果について」の説明は、以上でございます。

【金杉台中学校校長】

ここまでで何かご質問等がございますか。それでは次に進みます。次第の「1.検討事項(2)統合までの間の入学等対応策について」、説明願います。

【教育総務課長】

「統合までの間の入学等対応策」について、お手元の資料2をご覧ください。先ほど説明いたしましたアンケートの集計結果の中で、統合までの間の入学等対応策案に対する賛否、また、良いと思えない方々からいただいたご意見に対応するため、教育委員会の関係職員で組織する統合準備庁内会議で諸課題を整理し、案の一部を改め、「入学等対応策」をまとめました。

具体的には、資料1の29ページの案と資料2の違いですが、1の統合までの間に入学する中学校についての部分を少し変えました。2と3はそのまま変わりはありません。それでは資料の項目について、所管する各担当課から詳細をご説明いたします。

【学務課長】

資料2のうち「1.統合までの間(令和3、4年)に入学する中学校について」、学務課から説明いたします。

統合までの2年間、金杉台中学校の指定学区に住んでいるお子さんについては、金杉台中学校に入学していただくことを原則とし、この間に入学したお子さんは、それぞれ3年生に進級時、2年生に進級時に御滝中学校に転校していただくこととなります。

ただし、中学校入学時に、通学指定校変更を申請することにより、御滝中学校に指定校変更することができます。通学指定校変更を認める理由として、案の際には、「①入学時に御滝中学校2、3年生に兄・姉が在籍している、②金杉台中学校に希望する部活動がない、③統合時に転校することを望まない」の3点を挙げておりました。そのうち、「金杉台中学校に希望する部活動がなく、御滝中学校にはその部活動がある場合」を理由とした申請を行う場合、児童本人が記載する「通学指定校変更に伴う部活動入部願」を希望する中学校に持参し、校長との面接、校長の承認を経て学務課に指定校変更申請する必要があります。

これに対し、「統合時に転校することを望まない」を理由とする場合、添付書類等なく通学指定校変更申請書を提出していただくだけなので、部活動の理由については「転校を望まない」の理由に含むものとし、手続きの簡略化を図ることとしました。その他、記載事項に変更はございません。

なお、申請用紙は入学通知書と一緒に送付し、小学校をとおして提出していただくことを予定しています。

学務課からは以上です。

**【指導課長】**

続きまして、「2.統合までの間(令和3、4年)に入学する児童の制服・学用品等について」、「3.統合に向けた生徒の交流について」、指導課から説明いたします。

いずれに関しても、統合に向けて生徒の心情面の負担を軽減し、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう配慮するという観点から取りまとめた案の段階から、記載事項に変更はございません。

制服・学用品等に関しては、令和3年4月、令和4年4月に入学する児童のうち、金杉台中学校に入学する児童については、金杉台中学校の制服、御滝中学校の制服、どちらを着用してもよいものとします。また、令和5年4月の統合後も、金杉台中学校の制服をお持ちの生徒は、卒業まで金杉台中学校の制服を着用できるものとし、また、希望する生徒には制服バンクやリサイクルを利用して御滝中学校の制服も着用できるよう、今後、準備を進めてまいります。なお、制服以外の学用品等についても両学校間で調整し、令和3年4月以降、保護者に転校による金銭的負担が生じないようにしていきたいと考えております。

交流に関しても、統合に向けて、両校の教育課程や学校行事等を調整し、生徒たちの交流事業を計画します。また両校で類似する部活動がある場合は、合同練習などの交流を行うことを検討いたします。

指導課からの説明は以上です。

**【教育総務課長】**

以上、「統合までの間の入学等対応策」は、今後、教育委員会で決裁の上、決定し、関係する児童等へ公表し、保護者を対象とした説明会でご説明いたします。説明は以上です。

**【金杉台中学校校長】**

「(2)統合までの間の入学等対応策について」、何かご意見、ご質問はございますか。ないようですので、それでは次に進みます。

次第の「1.検討事項(3)各学校、学校間での検討状況について」、説明願います。

**【教育総務課長】**

「(3)各学校、学校間での検討事項について」、ご説明いたします。

前回の第1回統合準備会において、「教育課程」、「部活動」、「その他としてPTAの組織、学校評議員など」について調整する必要があると、学校間での検討をスタートしていくことを確認しました。各学校においての調整や、関係校の間ですり合わせ、調整していくことに関しては、今年度内に整理すべき事項と、統合までの間に引き続き検討していくことがございます。

本日は、今年度中に整理しておくべき調整事項について、担当課から説明いたします。

**【指導課長】**

教育課程に関することです。教育課程には、学校行事や校外学習なども含まれます。前回にもご説明いたしましたが、制服や学用品への配慮に関わることと、両校の交流にも関わることが中心となりますが、今年度中に完了させなければならない調整事項は次の3点です。

一つ目は令和3年度以降の教科の年間指導計画を調整し、副教材についても共通化していくこと。二つ目に、統合後に向けて教育課程を学校間で調整すること、三つ目に、統合前の令和3年度から生徒の交流事業を実施する場合、令和3年度の学校行事等を調整する必要がある。令和3年度の交流内容を検討する。

このほか今年度中の調整事項ではございませんが、自由記述の中に、両校の「生徒会」についてどうなるのか、というご意見がございましたので、学校間で調整すべきこととして追加し、今後検討を進めていただければと考えております。

**【保健体育課長】**

部活動に関することです。統合後に向けた調整と、統合前からの交流に関わることとがございませぬ。主な調整事項は次の4点考えております。

一つ目、統合後に引き続き部活動が続けられるよう検討すること、二つ目、統合前から合同実施可能な部活動の調整をすること、三つ目、統合後に両校の施設を使う際の課題整理をすること、四つ目、昨年度から船橋市でも導入しております部活動指導員の活用を検討すること、以上4点を考えております。

統合後に向けた調整など、これらの事項に関する検討を今年度も進めていきますが、統合前の令和3年度から、合同実施可能な部活動の調整をすることに関しては、現時点では来年度の入学者がどの部活動に入部するか把握できないことから、具体的な調整等は次年度の開始後、両校の顧問を中心に調整を行っていきたいと考えております。

**【教育総務課長】**

最後に、その他としてPTAの組織、学校評議員の課題に関することです。

当面のところ、PTA組織、保護者が負担する学校費等、統合後の学校評議員が挙げられておりますが、今年度中に完了しなければならない調整事項ではございませんので引き続き検討を進めていただければと考えております。

なお、前回の第1回統合準備会から1か月半ほどしか期間がなく、夏休み期間も挟んだため、皆様から統合準備会で共有すべき資料があれば事前にご提出をお願いしておりましたが、今回は特にございませぬでした。何か、この場で共有すべきことなどございましたら、お願いしたいのですが、会長よろしいでしょうか。

**【金杉台中学校校長】**

それでは「(3)各学校、学校間での検討状況について」、何かこの場で共有すべき事

項などはございますか。少し時間を取りたいと思います。

**【御滝中学校校長】**

アンケートの結果に目を通させていただいて、また教育委員会のほうからご説明を伺い、内容は非常によくわかりました。ありがとうございました。

共有するということではないんですけども、私自身のほうでこのアンケートを読ませていただいて、自分自身の思いと考えを、少しここでお話しさせていただければと思います。よろしいでしょうか。

ちょっとまとめてきました。アンケート結果から、統合について小学校の保護者の方々が様々な不安をお持ちであるということが大変よくわかりました。よりよい統合になるよう、具体的な準備や取組が大切ですので、この準備会で今後も十分検討していかなければならないと思っています。2校の統合であります。どうしても人数に大きな差があることにより、特に令和3年度、4年度に金杉台中学校に入学する生徒・保護者にとっては、統合時に御滝中学校に移ることの心配が大きいと思います。ですから御滝中学校としては、令和5年度の統合時に御滝中学校と金杉台中学校の生徒が一緒になって新たに歩いていく、スタートする、とすることができるようにしなければいけないと思っています。

まず、御滝中学校の生徒に令和5年度の統合を伝え、生徒にもしっかり意識付けをしていきたいと思っています。今の在校生は、令和5年度には卒業してしまっているので、実感が湧かないところではあるんですが、統合に向けて来年度、再来年度に準備を進める必要があること。そしてその中で取り組むことや、どういう学校にしていかなければならないかということを生徒にも考えさせたいと思います。そして何よりも大切なことは、安心して一緒に生活できる、温かい学校作りだと思いますので、校長として子供たちが安心して生活できる学校作りをこれまで以上に進めていきたいと思っています。

アンケートの自由記述欄を読みますと、御滝中学校の様子について書かれていて、私自身も気になっているところです。やはり保護者や地域の間ではいろいろな情報が入りますので、心配されることと思いますが、現在の御滝中学校は大変素直でまじめな子供たちが精一杯学校生活を送っていて、落ち着いていると思っています。しかし中学校ですから、思春期の子供たちが、いろいろなことを経験する中で成長しています。子供たち同士でいろいろなトラブルが起こることもあります。自分自身のことや友達のことでも悩み苦しむ子もいます。さらにその年によって学校の雰囲気や状況が変わることもあります。ですから、心配なことが出てくると思います。そのときは学校としてできることはしっかり対応していきたいと思っていますので、何かあればご相談いただければと、と思っています。私からは以上です。

**【金杉台中学校校長】**

はい、ありがとうございました。ほかにございますか。

私は平成30年度にこの学校に着任し、当時は、「金杉台中学校の今後を考える会」というのがあって、当時の管理部長や教育総務課長と、生徒やここで働く教職員のことをよく考えてほしい等、意見交換をさせていただきました。地域説明会が行われましたが、その後、コロナ過に巻き込まれ、詳細が聞かされないまま、令和2年3月、市のホームページや新聞に掲載され、非常に不愉快な思いをしたことを覚えています。

校長の発言には、大きな影響力があることを日々考えながら、生徒にも話をしていきます。学校の統合のことについても、じっくりと考え、生徒や保護者に話をする必要があります。どのように話をしてよいのか、教えていただければ助かります。

休校中の職員会議の中で、来年度の新入生は、御滝中学校の制服を着て、入学してくると本校職員には伝えてあります。ぜひ、このことを該当する6年生、5年生の保護者にお話しをさせていただきたいと考えております。

まとめませんが、言っておきたいことがありましたので、発言させていただきました。ほかに何かありますでしょうか。

#### 【金杉台小学校校長】

今日のご説明どうもありがとうございます。

アンケートを夏休み前に取らせていただいて、こういう結果が出たんですけども、やっぱりその中で、「わからない・検討中」という保護者が多くいて、6年の職員や教頭と予想したよりも少ない子供たちが金杉台中学校さんに行きたいってのがあって、ある意味ちょっとショックで、もっと行きたい子がいるんじゃないかなと。ただその中で今申し上げたように「わからない・検討中」というお子さんや保護者の方が多いいのは、やっぱり選択するのにわかること、わからないこと、いろんなことがあり困っているのかなと思っています。小学校自体にそういう問い合わせとかはなく、聞くところによると教育委員会さんのほうに直接問い合わせた保護者の方もいらっしゃると思います。学級編制の取りまとめがあるので、学校側から正式に、どちらの学校に進学しますかという調査をとっています。その一文には教育総務課さんとも相談して、今後、保護者の説明会が教育委員会さんでありますので、その後変更されてもいいですよってというような形で取らせていただきました。統合準備会だよりとか工夫して情報をたくさん出していただいています。この前も申したんですけども、ぜひ今後も保護者や子供たちが困らないように情報を出していただきたいと思います。必要があれば、学校側からもこういう状況だよと、6年生とか5年生にも、私もまだ何も話していない状況なので、説明会を待って子供たちと話す機会が作ればな、というふうに思っています。実際は今の5・6年生たちが非常に影響を受けるというか、当事者になりますので、ぜひ教育委員会さんと2校の中学校の校長先生と協力して、子供たちや保護者が困らないように進めていきたいなと思いますので、どうぞ協力よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

#### 【金杉台中学校校長】

はい、ありがとうございました。

まだ検討中という子供たちがいっぱいおり、揺れ動いている中で、不安に思っていることを解消できるように話を進めていく必要があると思います。

極端なことを言うと、金杉台中学校に入学してこないことも考えられるわけですから、そのことも考えておかなければなりません。いずれにしても、学校に通うのは子供たちなので、大人がいくら考えても、考えつかないことがあると思います。皆さんで知恵を出し合って話が進められればよいかなと思います。

ほかに何か、共有すべき事項等ありましたら、どうぞ。

#### 【御滝中学校 PTA】

御滝中学校は近隣の三咲小学校、二和小学校、金杉台の学区の方も、高根のほうからも生徒さんが来ています。本部としましては、子供と先生との橋渡しみたいな形で行っています。その中で例えば三咲小学校の保護者だけの方々が集まった本部役員、二和小学校だけの本部役員、ではなくて、私たち保護者もそれぞれ子供たちの通っている学区の中から、まんべんなくという大変ですが、それぞれ代表を募って本部という形で活動させてもらっています。ですので、今の役員もそれぞれ二和小学校、三咲小学校、金杉、高根のお母さま方が活動されています。それはやはりその地域・地域で特性的なものとか、保護者の方々の関わりがあるので、子供たちはこういうふうだよっていう保護者から聞いたお話を、本部がまた学校の校長先生たちにお話をさせていただき、学校の中を取りまとめていく形となっています。御滝中学校で保護者の方も、いろいろ心配があると思うんですけども、PTAの活動としましては、それぞれの学校のお母さんたちに協力していただき、偏りなく本部役員となっただけでいる状況を知っていただきたいなと思います。

私もこの中のものを見ましたけれども、やっぱり、人数が多いところに少人数の子供たちが来ると、とても親としても不安なところがあると思います。以前二和小学校もすごく人数が一時少なくなって、本当に廃校になるのではというくらいに少なくなったときもありました。子供たち慣れれば慣れてしまうんでしょうけれども、その学校に通うまでの不安を、私たち PTA としても、令和 5 年になると、私たちも金杉台中学校の保護者の今の会長さんたちも、皆さんいなくなるので、それを PTA としても伝えていきながら、活動していきたいと思っております。まとまりがないのですが、そのように PTA も活動しておりますので、よろしく願いいたします。

#### 【金杉台中学校校長】

はい、ありがとうございました。ほかにございますか。最後に、次第の「2.その他」ということですが、事務局の教育総務課から事務連絡等がありますか。

#### 【教育総務課長】

はい。最後になります。その前に本日は貴重なご意見、3校の校長先生、及び PTA

の方々、ありがとうございました。子供たちが一番大事、ということでしっかり受けとめまして、今後検討のほうに入らせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

次回の日程について、11月中旬頃の開催に向け開催日時と開催場所について調整させていただければと考えております。お忙しいところ、恐縮ですがけれども、正式な出席依頼は別途学校宛てにお送りさせていただきますのでよろしくお願いいたします。また、資料についても事前にお配りできるよう心掛けたいと思っております。

今回の検討事項は、保護者説明会の後となりますので、保護者説明会の開催結果のご報告、進学先の意向調査の結果による新年度の入学見込、その他各学校・学校間での検討・調整事項の進捗報告を行いたいと思っております。

本日の検討内容は、「統合準備会たより第2号」としてまとめ、関係校の児童生徒に近いうちに配付し、市ホームページにも掲載いたします。

事務連絡は以上でございます。

**【金杉台中学校校長】**

ありがとうございました。最後に何かご質問等はございますか。

それでは、以上をもちまして、第2回船橋市立金杉台中学校・御滝中学校統合準備会を閉会いたします。ありがとうございました。